

西っ子だより



【ご参加ありがとうございました】

～1学期末の保護者参観と学級懇談会～

早いもので、もう7月。今年は雨量のある梅雨でしたが、いよいよ終盤です。梅雨もイヤですが、その後の暑さもイヤだと人間のわがままがつい出てしまいます。そんな中、7月1日（水）に1学期末の授業参観と学級懇談会を行いました。1～4年生は、算数・音楽・図工など教科学習の様子、5・6年生は湯布院より後藤孝之弁護士を招いてのスクールロイヤー授業を行いました。どの授業でも、今年のテーマ「基礎・基本」を先生も子どもたちも意識しがんばっていましたね。その後の、学級懇談では、担任から1学期の様子や来たる夏休み、さらには2学期以降の見通しも持ちながらお話をさせていただきました。メディアチェックの話題では、やはりルール作りや守ることへの難しさも出され、同じ年齢の子どもを持つ親として悩みを出し合えたのはとてもよかったと思います。今後も困りを共有し、ともに乗り越えていく西庄内保護者会であってほしいと思いました。ご参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました



【4年生神楽教室】

4年生では、総合的な学習の時間に「庄内町の自慢するところ」の学習課題の元で、『庄内神楽』について調べています。7月7日（火）は、長く「庄内神楽」普及・指導に関わってきている長尾郁さんに来ていただき、神楽の歴史や現在の様子などを聞く活動ができました。また後半は、体育館の中で、実際に太鼓を打ったり、鈴などの道具を持って、基本的な足さばきを指導していただいたりし、子どもたちも興味津々、とても楽しそうでした。

梅雨の合間の晴れの日で、とても暑かったのですが、熱心にご指導していただき、長尾さんを始め、関係の皆様感謝いたします。



【『やさしさの木・がんばりの木』が花開きました】

【書写はなぜする？】

本校保健室前の掲示板にある『やさしさの木、がんばりの木』は、児童会スローガンである「あなたの居場所 西庄内小学校」の取組の一つです。友だちのいいところをどんどん見つけ、花びらや葉っぱに綴って、枯れ木を生き生きとした木に成長させる取組です。1学期で、こんなにたくさんさんのやさしさやがんばりがあったんだということを「見える化」したものです。温かい西っ子たちです。

小中学校で書写をする意味、それは手書き文字を正しく書く習慣化です。そのため、基本的にはうまいとか下手ではなく、筆順や折れ・はね・はらい等を考えながら書く。ですので、3年生以上の毛筆学習でも、学習の中で学んだことを硬筆に生かすことが最終目的となります。デジタル社会では文字は記号となり、もちろん必要ではないかもしれませんが、実は書写を通して、見方や考え方を育てているわけです。階段に掲示されている子どもたちの作品も、そんな視点で見てもうと、がんばりが見えてきますね。

